

台東病院を守れ 署名託し国会議員へ要請



署名を託す。左から3人目が寺山会長

都議会本会議が開催された2月22日、都議会議事堂前で都立・公社病院の独法化中止を求めて集会を行ない、450人(東京土建は181人)が参加しました。主催は都立病院の充実を求める連絡会。主催者を代表して氏家祥夫

3月3日、区立台東病院を守る会(以下、守る会)のメンバー8人は、国会議員会館を訪ねて、約1年間取り組んできた署名の一部(1300筆)を宮本徹衆議院議員、山添拓参議院議員(いずれも共産党)に託し、要請しました。宮本議員との懇談では、署名の反応、超党派での取り組み、台東区の状況などを、守る会のメンバーが話しました。宮本議員は「台東病院の地域での特別な役割はよくわかっています。厚生労働省に対し

て統合・再編リストから台東病院をはずすように働きかけていきます」と応えました。守る会の会長の寺山邦裕さん(台東)は「現在、約6000筆の署名が集まっています。東京土建の各支部の皆さんにも協力いただき感謝しています。今後は、東京都への働きかけなども進めていこうと考えています」と話してくれました。



新年度の本部役員の方々の皆さん

なお、3月17日には立憲民主党政の議員にも署名の一部を持って、要請しました。

さんは「今回の都議会では3つ大きな問題がある。一つは明治から続いた都立病院をまったく失くしてしまうこと、二つ目は次年度予算で都立病院予算は3カ月しかなく、7月からは支援費と貸付金で運営する、つまり独立行政法人

のスタートから借金を背負う、三つ目は病院職員を非公務員化、約7000人がリストラされる。このような小池都政の悪質なやり方をストップさせよう」と挨拶しました。斉藤真里子都議(共産)の連帯挨拶の後、7人が発言。

【主婦の会発】2022年2月19日、けんせつプラザ東京をメインに30会場をWEBでつなぎ、本部役員35人、代議員97人、特別代議員11人の計143人、組合からの出席者を含め総計171人で「東京土建主婦の会第56回総会」が開催されました。

堀江・杉本両常任を議長に選出し、議事に入りました。まず末浪本部社保担当書記を講師に「女性健診」について学習した後、「基調報告」、続いて「組

【本部】宮内竜平記「青年部は、2月27日、32支部95人の仲間が結果集し、第65回青年部定期大会をけんせつプラザ東京及び各支部からWEBからの参加で開催しました。午前中は、中期3カ年計画の到達を総括し、コロナ禍でも「仲間を救った」教訓の上に立ち、新年度は、「仲間が助け合い、ともに成長できるブロックの団結」をテーマに、働き方改革の対応とCUS登録を、賃金アップ処

【本部】葛飾支部・文京支部からの経験報告後、分散会(ブレイクアウトルーム)で、各支部の経験交流を行いました。新役員は、新たに本部四役となった長沼さんを紹介、「四役ついで」と決意を述べ、五本木さんからは、卒業のあいさつとして、「どんな組合を活用してほしい。そして青年部活動ではチャレンジしてほしい」、また支えてくれた仲間への感謝の言葉を述べました。新年度役員は下記の通り。部長・栄大翔(調布)、副部長・新島秀成(練馬)、山口湧也(目黒)、長沼大生(墨田)、書記長・三宅修平(杉並)、書記次長・佐藤聖峻(清瀬久留米)。



都議会議事堂に向けシュプレヒコール

都議会 会動 包圍

独法化は中止せよ

千葉常任中執が決意表明



リーフを配り、署名を訴える

3月4日、新宿駅西口にてマイナンバー制度反対連絡会で「マイナンバー制度の利用拡大に反対する」署名宣伝を行ない、16人(東京土建は13人)が参加しました。4人の弁士が宣伝カーからスピーチ。東京土建の木

村潮人書記次長は「国はポイント付与などこの手でカードの普及を図っている。この制度はカードという身分証を使って国民管理をする」とが狙い。個人情報の保護はないがしろだ。利用を拡大させないように声をあげよう」と訴えました。行動参加者は「どうなる?

どうなる?マイナンバー」リーフを配布し、マイナンバー反対署名を行ないました。署名に協力した方は「個人情報丸裸になる制度は絶対イヤ」(新宿区在住の女)、

【本部】佐藤正雄記「2月13日、本部PAL(資本従事者の会)第17回総会を開催しました。昨年に引き続き、代議員は支部1人として、オンラインと委任状を併用、33支部と本部で44人が参加しました。コロナ禍2年目の2021年は、現場の感染防止対策や休工時の補償、その他の現場問題について、仲間の声に基づいた要求を元請企業につ

つけ、様々な成果を勝ち取ってきました。また、現場情報交流LINEを開設し、広く仲間の声を集める取り組みを進ませました。総会では、そうした運動の到達に確信を持ち、さらなる発展をめざす方針を確認しました。とりわけ、春秋の企業交渉において、仲間からの現場情報を5件以上集めること、年間5人以上の資本従事者をPALに迎え入れること、従事者会議を開催することを、全支部で取り組む重点課題とします。

東京土建の千葉一郎社保対部長は「東京土建は創立以来、社会保障の充実を求めてきた。皆さんと一緒に独法化中止を求めてきたかっこいい」と決意を述べました。また寺

山邦裕中央執行委員は区立台東病院を守る運動について発言しました。参加者は、集会の途中と最後に、都議会に向かいシュプレヒコールを行いました。

【平和家族・女性】「教育宣伝」の経過と支部経験報告、並びに決算と監査の報告があり、質疑の後に承認されました。続いて各専門部より方針、そして予算案の提案があり、質疑を経て議決されました。スローガンと総会宣言が採択され、機関紙まつり表彰後に役員が改選されてすべての議事が終了、議長が解任されて閉会となりました。

【本部】方々が選出されました。(敬称略)会長・君塚徳子(町田)。副会長 岡村恭代(北)、濱崎英子(中野)、荒嶋紀子(小金井国分寺)。事務局長・小野瀬田香(江東)。

【本部】オンラインでも「団結」

【本部】つげ、様々な成果を勝ち取ってきました。また、現場情報交流LINEを開設し、広く仲間の声を集める取り組みを進ませました。

主婦の会 WEBで総会開催 新会長に君塚さん(町田)

【本部】方々が選出されました。(敬称略)会長・君塚徳子(町田)。副会長 岡村恭代(北)、濱崎英子(中野)、荒嶋紀子(小金井国分寺)。事務局長・小野瀬田香(江東)。

助け合い共に成長 栄新部長(調布)を選出する

青年部

【本部】宮内竜平記「青年部は、2月27日、32支部95人の仲間が結果集し、第65回青年部定期大会をけんせつプラザ東京及び各支部からWEBからの参加で開催しました。午前中は、中期3カ年計画の到達を総括し、コロナ禍でも「仲間を救った」教訓の上に立ち、新年度は、「仲間が助け合い、ともに成長できるブロックの団結」をテーマに、働き方改革の対応とCUS登録を、賃金アップ処



【本部】つげ、様々な成果を勝ち取ってきました。また、現場情報交流LINEを開設し、広く仲間の声を集める取り組みを進ませました。総会では、そうした運動の到達に確信を持ち、さらなる発展をめざす方針を確認しました。とりわけ、春秋の企業交渉において、仲間からの現場情報を5件以上集めること、年間5人以上の資本従事者をPALに迎え入れること、従事者会議を開催することを、全支部で取り組む重点課題とします。